

## わくわく はいく!

### ① 山頂を目指してしゅつぱーっ!

早速山頂へ向けて出発したくれよんメンバー達。突然目の前に現れた道は、まるで“木のトンネル”みたい! どんどん中へ進んで行くと…、おっ! ドングリがたくさん落ちてているね。この道は、歩くとフカフカしていて不思議だな～。トンネルを抜けて少し上ると、お山のとっぺんに到着です! 小さく見える街を見下ろしながらみんなで「ヤッホー!」と叫びました。



### ② 神社一周チャレンジ

次は、山頂近くにある『建勲神社』の周りをぐるっと散策です。各々が素敵だなと感じる自然のモノを拾い集めながら歩きます。この時期らしい色とりどりの葉っぱや、面白い形の枝を次々と拾っていくメンバー達。中には30個以上のドングリを集めた“ドングリハンター”も! 集めたモノは、一人ずつ前に出て紹介し、みんなの発見を共有しました。



### ③ 「はいく」つてなあ～に?

午後からは、広場に活動場所を移し、俳句作り挑戦です。「はいく」を初めて作るメンバーがほとんどで、まずは“五・七・五”や“季語”について知ってから作品作りに入りました。俳句のテーマを「今日の出来事」とし、午前の活動を振り返りながら、俳句に取り入れられそうなキーワードを見つけていきます。言葉選びに悩みながらも、みんな上手に当てはめて完成させました。



### ④ 完成!“はじめての俳句”

俳句ができたら、筆を使って台紙に清書していきます。使い慣れない筆の感覚にドキドキしながら、みんな真剣な表情で一文字一文字を書いていた。メンバーによって異なる字の力強さや文字のバランスが、より一層個性的で味わい深い作品へとつなげています。最後は、輪になって作品のお披露目会。納得のいく作品を持って俳句を詠む姿はみんな堂々としていました!



今月は、“ハイキング”と“俳句作り”の2つのプログラムを関連付けて行いました。今回登った船岡山は標高が高くないので、じっくり時間をかけて秋の自然に触れながらのハイキングを楽しむことが出来ました。体力面はまだ余裕が見られたため、次の山登りではもう少し高い山をフィールドに、メンバー同士がもっと関わりを深められるようなプログラムが出来ればと思います。俳句作りに関しては、やはりメンバー達にとって俳句を理解することは容易ではなく、どうすればイメージがしやすいだろうかと伝え方に悩みました。しかしざ活動してみると、メンバーそれぞれ、言い回しや表現に異なった魅力があり、メンバー達が活動でどんなことに気づき、どう感じたかを知る一つの方法としてとても面白いと感じました。メンバーにとっても、普段とは違った言葉の表現方法に触れる良い機会になったのではないかと思います。  
(生田 千恵)